



2024年10月10日

各位

会社名 株式会社セイヨー  
代表者名 代表取締役社長 飯塚 周一  
(コード番号: 2872 東証スタンダード市場)  
問合せ先 取締役管理部長 安藤 力  
TEL 025-386-9988

## 第2四半期(中間期)業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2024年4月12日に公表いたしました2025年2月期第2四半期(2024年3月1日~2024年8月31日)の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、以下のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 2025年2月期第2四半期(中間期)業績予想と実績との差異(2024年3月1日~2024年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想 (A)	2,800	135	140	110	78.89
実績値 (B)	2,820	183	200	157	112.82
増減額 (B - A)	20	48	60	47	
増減率 (%)	0.7	35.7	43.1	43.0	
(ご参考)前期実績 (2024年2月期第2四半期)	2,814	129	134	108	70.19

#### 2. 差異の理由

当中間会計期間の経営成績は、主力のアイスクリーム部門において、既存取引先への拡販等が順調に推移していることに加え、全国的に平年よりも気温が高かった影響等もあり、かき氷製品や新潟県内で高い知名度を誇る「もも太郎」等の氷菓を中心に自社ブランド品が好調に推移いたしました。7月以降は全国各地の大雨・台風による悪天候や新潟県内の梅雨明けが平年より遅れた影響を受けたものの、原材料価格や2024年問題に起因する物流コストの上昇のほか、エネルギーコストの高止まりや人件費の高騰といった製造コストの上昇に対応するため、自社ブランド品の価格改定を実施いたしました。これにより営業利益率が改善し、営業利益、経常利益、中間純利益のいずれも前回公表した予想を上回りました。

なお、通期業績予想につきましては、前回予想を据え置いております。当中間会計期間は、自社ブランド品が好調であった反面、OEM売上が減少したため、下期に巻き返しを図るべく期首時点の生産計画から変更を進めております。また、一部原材料価格の上昇が見込まれるなど不確定要素を多く含むことから、今後、精緻な見積りが可能となった時点で業績予想の修正が必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

※上記の業績予想等に関する記述につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成されており、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上